

中経論壇

経営支援NPOクラブ理事
吉田 仁



過日会った、コミュニケー
ション研修の講師をしている
知人が、ユマニチュードにつ
いて勉強していると話してい
た。ユマニチュードケアとは、
フランスで生まれた認知症ケ
ア技術で、日本の医療・介護
の現場でも採用され始めてい
る。私の知人も、介護関係従
事者に向けての研修のテーマ
として取り入れるため、勉強
を始めたようだ。

認知症の人の手や身体をさ
すってあげることが安心感を
与え、症状の進行を遅らせる
ことができるという。むずか
る子供を、母親がやさしくさ
すったり抱いたりしてあげる
と泣き止むし、大人でも激し
い雷のときなど、思わず隣の
人に抱きついたりしてしま
う。仲直りのときは、握手や
肩をたたき合う。争って興奮
状態にあるときでも、抱き合
うことで落ち着く様子が、チ
ンパンジーにも見られるとい
う。こうしたことは、霊長類
が恐怖から逃れるため、本能
的に身を寄せ合い、触れ合う

「触れ合う安心」見失うな

新型コロナの本当の怖さ

ことで安心感を得
たことを示してい
る。
触れ合うとい
う、人間にとつて
根源的な行為を否
定されるところ
に、新型コロナウ
イルスの怖さがあ
る。やさしくさす
つてあげたい人か
ら、今は距離を保
たねばならないと
いう不条理の状況
にあるのだ。家族
に一人でも陽性者
ができれば、皆はバ
ラバラにされてし
まう。新型コロナ
の場合、誰が感染
しているか分から
ないという怖さ

が、社会活動を停止させ、人
と人の分断を招いている。
そして、最も恐ろしいこと
は、物理的分断だけでなく、心
の分断を招いていることであ
る。医療従事者の家族に対す
る差別、自衛警察と呼ばれる
現象、ひいては国土士の対立
に至るまで、とどまるどころ
を知らない。我々は、ペストが
まん延する中で、魔女狩りが
行われたという歴史を知って
いるが、そうした知識はなか
なか役に立たないようだ。

この殺伐とした雰囲気の中
で、先日ほんのり明るいニュ
ースがあった。小さな子供の
字で、自宅待機でこみが増え
ていることのお詫びと収集へ
の感謝を伝える手紙が、集積
場所に残されていたというの
である。危険と隣り合わせで
仕事をしているこみ収集の人
への心配りに、なにか小さな
手で背中をやさしくさすられ
た気がした。